

聖なる日に響き渡る、歓喜と熱狂のコーラス

クリスマス・スペシャル クラシック

メサイア、第九&アヴェ・マリア

〈予定プログラム〉

チャイコフスキイ バレエ「白鳥の湖」より“ワルツ”

バレエ「眠りの森の美女」より

“ワルツ”“ローズ・アダージョ”

バレエ「くるみ割り人形」より“花のワルツ”

エルガー

ヴェルディ

マスカーニ

ヘンデル

シューベルト

ベートーヴェン

威風堂々

歌劇「アイーダ」より“凱旋行進曲”

歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より“間奏曲”

オラトリオ「メサイア」より“ハallelヤ・コーラス”

アヴェ・マリア

交響曲第9番より第4楽章“歓喜の歌”ほか

圧倒的な大迫力で、
会場が歓喜と熱狂に包まれる！
超有名曲のオンパレード！
しかも聴きたいところだけの
豪華絢爛・特別プログラム！



指揮
ミハイル・タタルニコフ



ソプラノ
タチアナ・リャグゾバ



メゾ・ソプラノ
ラリーサ・コスチュク



テノール
フェドール・アタスケヴィッチ



バス
ユーリイ・グラソフ

管弦楽：ミハイロフスキイ劇場管弦楽団／指揮：ミハイル・タタルニコフ／合唱：志おん混声合唱団／合唱指揮：辻 志朗

2015年12月23日(水・祝) 14:00開演(13:15開場)

東京国際フォーラムホールA

2015年12月24日(木) 19:00開演(18:00開場)

東京芸術劇場コンサートホール

入場料金(税込)

S席 11,000円

A席 9,000円

B席 7,000円

8月28日(金) 前売開始!!

光藍社チケットセンター ☎050-3776-6184
<http://www.koransha.com/>(座席指定OK)
イープラス <http://eplus.jp/>(パソコン&ケータイ)
チケットぴあ ☎0570-02-9999
ローソンチケット ☎0570-000-407
東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650
東京芸術劇場ボックスオフィス(12/24のみ) ☎0570-010-296
セブン-イレブン 店内マルチコピー機にて販売

※曲目・出演者は変更となる可能性がありますが、ご了承下さい。

※未就学児のご入場はお断りさせて頂きます。

※開演後のご入場は制限させて頂く場合もございます。

ステージが熱い音で満たされる! 2015年の最後を飾る、大編成の演奏に心が震え感動に包まれるクリスマス・コンサート!!

今年もあの「特別な一日」がやってくる。ステージいっぱいに広がる、大編成のオーケストラ、大合唱団、そして4人の名歌手が織りなす「溢れんばかりの音楽」と「底知れぬ感動」に包まれるビッグコンサートだ。

クラシックの大曲を全曲通して聴くのは、時に、体力や覚悟や集中力が必要だったりするものだが、「あの楽曲だけを聴きたい」「有名な場面だけを楽しみたい」と思うのはよくあることで、こうした「いいとこ取り」を集めてしまったのがこの「特別な一日」なのだ。それは決して大曲に向かうことからの逃避ではなく、むしろ作品への熱いオマージュ(敬意)の表れと考えたい。

クリスマスシーズンに入り年末が近づくと、どうしても音楽ファンはヘンデルの「メサイア」やシューベルトが心を込めて音にした「アヴェ・マリア」、そしてベートーヴェンの「第九」が聴き

たくなってしまう。とりわけ、「ハレルヤ・コーラス」や「歓喜の歌」は「12月だからこそ、あのメロディー部分をすぐ聴きたい」と思ってしまう音楽だ。それを一日で、しかもヨーロッパ第一級のオーケストラとソリストを中心とした演奏で、という欲張りな願いを叶えたのがこのコンサートだ。

演奏するのは日本でもお馴染み、180年余年の歴史を誇るロシアの名門ミハイロフスキイ劇場管弦楽団(旧レニングラード国立歌劇場管弦楽団)。それに加え、国際舞台で活躍するソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バスの独唱歌手、さらに大混声合唱団がステージから溢れんばかりにズラリと並ぶ。

圧倒的音量で、次々と登場する、だれもが知っている、だれもが聴きたいと願う名曲の数々。あなたの心に熱いものが去来するクリスマスの思い出になるだろう。



ミハイル・タタルニコフ(指揮)

サンクトペテルブルグ高等音楽院卒業。2006年にミハイロフスキイ劇場で指揮者としてデビューし、2007年には「3つのオレンジへの恋」(プロコフィエフ)でオペラ指揮者としてのデビューを飾った。その後、トリノ王立歌劇場やストレーヴ音楽祭のオーケストラ、ノヴォシビルスク・フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルグ音楽院管弦楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団などと共に演を重ね、メトロポリタン歌劇場「ニーベルングの指環」(ワーグナー)では、ヴァレリー・ゲルギエフ氏のアシスタント指揮者を務めた。ベルリン・コーエン・オーパー、東京交響楽団、イエナ・フィルハーモニー管弦楽団、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団などとも共演し、オランダでのゲルギエフ・フェスティバルのガラコンサートや、リガ国立オペラ劇場(ラトビア)での「エフゲニー・オネーゲン」の新演出でも指揮を務めた。また、スカラ座ではバレエ「オネーゲン」(振付・台本: クランコ、音楽: チャイコフスキー)、ボルドー国立オペラ劇場では歌劇「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」(モーツアルト)、バイエルン国立歌劇場では歌劇「ルサルカ」(ドヴォルザーク)を指揮した。2012年1月、ミハイロフスキイ劇場の音楽監督及び首席指揮者に就任。新演出によるオペラの上演や、ナチ・ドゥアトによるコンテンポラリー・バレエ作品の上演に力を注ぐとともに、ミハイロフスキイ劇場のコンサート・レパートリーの拡大にも力を入れ、室内楽や管弦楽団の演奏会も定期的に開催している。2013年にはサンクトペテルブルグにて、名誉ある指揮者に贈られる「Golden Soffit」を受賞した。

辻 志朗(合唱指揮)



洗足学園音楽大学講師、(社)日本演奏連盟会員、日本合唱指揮者協会会員。東京、神奈川、栃木、新潟、鹿児島他で20数団体余の合唱団の指導をする他、NHK交響楽団、東京交響楽団、グラツフィルハーモニー管弦楽団、ミハイロフスキイ劇場管弦楽団、キエフ国立フィルハーモニー管弦楽団等々、国内外の合唱プロジェクトのトレーナーとして活動する他、全日本合唱コンクール、NHK学校音楽コンクール、全日本お母さんコーラス大会、各地の合唱祭、合唱講習会の講師を勤めている。ピアニストとしては、ピアノデュオや声楽家や合唱団とのアンサンブル、レコーディング等の活動を行っている。“志の輔らくごinパルコ”「歓喜の歌」及び、シネマノン映画 立川志の輔原作「歓喜の歌」の合唱部門全般を担当。東宝映画「零の焦点」合唱シーンに関与。

任天堂DS用ソフト みんなのDSゼミナール“カンタン音学力”監修。

著書 「誰でもぜったい楽譜が読める!」音楽之友社 第17刷発売中

ミハイロフスキイ劇場管弦楽団

ロシア文化・芸術の中心地、サンクトペテルブルグ(旧レニングラード)。この地で愛され続けてきたミハイロフスキイ劇場管弦楽団は180余年の歴史を有し、サモスード、コンドラシン、サンデルリンク、テミルカーノフなどの偉大な指揮者のもとで活動を行ってきた。同劇場はプロコフィエフの「戦争と平和」、ショスタコーヴィチの「鼻」「ムツエンスク郡のマクベス夫人」などを初演した劇場としても知られ、偉大なるバス歌手シャリアピンも、この劇場で初演作品を多く残している。流麗な響きで定評を得ているチャイコフスキー作品や、ラフマニノフ、ムソルグ斯基ーなどのロシア人作曲家の演奏を得意とするが、近年はさまざまなレパートリーを披露し、好評を博している。



志おん混声合唱団

2013年10月結成。合唱指揮者辻志朗氏が指導している合唱団に所属する団員や、その関係者、一般公募を経て、団体などの枠を超えて編成された混声合唱団。正指揮者辻志朗氏の他、指導者として副指揮者に海野美栄氏、ヴォイストレーナーに山口成美、ピアニストに辻悦子氏を迎える。東京オペラシティコンサートホール、みなとみらいホールなど第九公演は5回を数え好評を博した。